かがわ看護だより 102

平成30年8月10日

平成30年7月31日現在 会員数
7,164名

- ●保 健 師　198名
- ●助 産 師　260名
- ●看 護 師　6,494名
- ●准看護師　215名

(公社)香川県看護協会　〒769-0102　高松市国分寺町国分152-4
TEL：087-864-9070　FAX：087-864-9071
http://kagawa-kango.com
発行責任者／中村　明美

瀬戸内の天空の鏡「父母(チチブ)が浜」　回生病院　宮武　千明様　撮影

《目　次》

平成30年度公益社団法人香川県看護協会定時総会開催 ……2
保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能合同交流集会 ……3
４職能合同取り組み報告 ……3
新役員あいさつ ……4
平成30年度役員・推薦委員 ……4
平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員 ……4
受章者・表彰者のご紹介 ……5
2018年「看護の日・看護週間」記念講演 ……5
職能委員会活動方針 ……6
平成30年７月豪雨　災害支援ナースとして活動 ……6
平成30年度 支部活動 ……7
理事会報告　お知らせ ……8

平成30年度
公益社団法人 香川県看護協会
定 時 総 会 開 催

平成30年度公益社団法人香川県看護協会「定時総会」が６月17日（日）に開催された。

毎年、紫陽花の花と新緑が美しい季節に開かれる定時総会は、梅雨晴れに恵まれ、映像機器が更新された大ホールには今年度も大勢の会員の出席があり盛大に行われました。

中村明美会長の挨拶に続き、来賓の浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長、久米川啓香川県医師会長よりご祝辞をいただき、福井トシ子日本看護協会会長、草間朋子日本看護連盟会長からの祝電が披露された。また、香川県看護協会名誉会員の臼杵久子様、佐久間善子様、大畑啓子様、山本良子様が紹介された。続いて議長団が選出され、審議事項２議案と報告４事項の審議・報告が行われた。

平成29年度事業報告後、第一号議案として平成29年度決算報告（案）及び監査報告があり採決、続いて平成30年度日本看護協会通常総会報告・平成30年度重点事業並びに事業計画・平成30年度資金収支予算及び収支予算報告がされた。

今年度の重点課題は「地域包括ケアにおける看護の機能強化」「看護職の労働環境整備の推進」「少子超高齢社会で活躍する人材育成」「看護政策について熟知し、政策実現活動に参画」の４つで、それぞれについて事業内容が説明された。

第二号議案は、平成30年度改選役員及び推薦委員、平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について候補者紹介後選挙が行われ、全ての議案と役員改選は賛成多数で可決され、定時総会は無事終了した。

総会の出席者550名（会員530名、役員18名、議長団２名）、委任状5,693名、総数6,243名（平成30年６月17日現在会員数7,296名）。

広報出版委員　岡本　順子

保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能合同交流集会開催

定時総会終了後、保健師・助産師・看護師Ⅰ（病院領域）・看護師Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）職能委員会合同交流集会が開催された。各職能委員長より活動の概要報告のあと各委員から活動報告が行われ、保健師職能委員からは、保健師人財育成検討会活動報告・子育て世代包括ケア推進プロジェクトチーム活動報告、助産師職能委員会からは、院内助産システムの推進検討会活動報告・施設と地域の連携ネットワーク検討会活動報告、看護師職能委員会Ⅰは、看護師長への教育並びに支援体制への取り組み検討会活動報告・病院に於ける看護職と他職種の連携や協働の在り方に関する現状調査検討会活動報告、看護師職能委員会Ⅱからは、看取りケア普及検討会活動報告がされた。

野口助産師職能委員長から「4職能合同委員会での報告で感じたことは、各職種内での顔の見えるネットワークづくりだけでなく、職種を超えたネットワークづくり、連携の強化は日本看護協会、香川県看護協会の目指すところであり専門職として働く私たち看護職の目指すところであるというところです。今後の各職能の活動・活躍に期待します。」と述べられた。

広報出版委員　岡本　順子

4職能合同取り組み報告

「4職能協働による子育て包括ケアの推進」

保健師職能委員　谷本　愛

特定妊婦や精神疾患のある妊産婦、医療的ケア児等すべての妊産婦や子どもを対象とする医療と地域が一体となった包括ケア体制の構築が求められています。

そのような中、職能委員会活動として、平成28年度・29年度は日本看護協会からの「子育て世代包括ケアシステム構築のためのモデル事業」に取り組みました。この事業では、モデル地域を選定し、その地域の実情に応じて、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援に向けた取り組みを推進しました。事業の要となっていたのは、「看護職間の連携」ですが、「4職能協働」は、「職能委員から始める看護職間の連携」でした。

地域特有の健康課題、看護職間の連携の現状や課題を共有し、その方策を検討するために、モデル地域において検討会や研修等を開催しました。それらの結果から、今後職能委員会として共同で取り組む課題も明らかになってきました。その成果は、職能合同交流集会で報告させていただいたところです。

平成30年度職能合同交流集会参加者のアンケートからは、モデル事業の報告を聞いて

①4職能協働・連携は重要。今後もこのような機会が必要（保健師）
②多職種間の意見の相違から歩み寄り連携の重要性が理解できた（助産師）
③施設だけではわからない地域の活動を知ることや、顔の見える関係を日ごろから築くことは大切であり、災害時にも役立つと思った（助産師）
④顔の見える関係構築のために、今後も継続して活動することが大事（看護師）
⑤継続看護の用紙の検討、基準などが統一され、早急に使用できればよい（看護師）

など4職能協働事業への興味関心を示す意見がありました。

検討会や研修等を開催するために、職能委員会では、月1回程度の合同委員会により、事業の進め方、役割分担について話し合いを重ねました。今回、職能委員会の協働が実現できたのは、このような話し合いの場で情報共有ができたこと、職能委員の間で、社会で子どもを守るということ、地域で安心して子育てできる地域をつくることを共通して感じていたからこそではないかと思っています。

今後も継続して、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援に繋げる活動を行っていきたいと考えています。

小豆島へのフェリーの中での
4職能委員の移動会議

新役員あいさつ

監事　村井由紀子

公益社団法人香川県看護協会は、県民のニーズに応えられる専門職能団体として、会員一人ひとりが専門職として質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりに努めております。監事には、理事、執行部の業務運営に、会員目線に立って監査業務を行っていく事が求められます。新任ではありますが、公益法人の監事としての自覚を持ち、職務を遂行できるよう努力してまいりたいと思っております。（前列左から２番目）

第６支部理事　武森八智代

この度、第６支部理事という大役を拝命することになりました四国こどもとおとなの医療センターの武森でございます。身に余ることとは思いますが、前任の理事の意志を受け継ぎ専心努力して参ります。

さて、地域包括ケアシステムの実現に向けて看護職に期待される役割は大きくなっています。第六支部では、これまで以上に支部役員間の連携を深め、多様なフィールドでの活動にあゆみをすすめていくことが重要だと共通認識しております。第６支部の看護職の連携がさらに深まり、より発展できるように貢献して参ります。皆様のご支援・ご助言をいただきながら地域での役割を果たしていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。（後列左から２番目）

平成30年6月17日定時総会での改選後
役員・推薦委員名簿
（平成30年6月17日現在）

■役員

役員	氏名	職種	施設名
会長	中村　明美	看	香川県看護協会
副会長	三村　真史	看	香川県立中央病院
副会長（兼）職能理事	細川　克美	看	香川大学医学部附属病院
専務理事	安藤　幸代	看	香川県看護協会
常任理事	三原由紀美	看	香川県看護協会
常任理事	野上　典子	看	香川県看護協会
常任理事	松原　文子	保	香川県看護協会
職能理事	田中　邦代	保	香川県看護協会
職能理事	野口　純子	助	香川県立保健医療大学
職能理事	井上　香里	看	介護老人保健施設　城山苑
第１支部理事	赤松美智代	看	さぬき市民病院
第２支部理事	吉元　和子	看	小豆島中央病院
第３支部理事	原渕美千代	看	屋島総合病院
第４支部理事	池内眞理子	看	回生病院
第５支部理事	埴岡康恵子	看	香川労災病院
第６支部理事	武森八智代	看	四国こどもとおとなの医療センター
第７支部理事	森安　浩子	看	三豊総合病院
全支部理事	矢野　太一	准看	坂出聖マルチン病院
監事	村井由紀子	看	高松赤十字病院
監事	山下　隆司	税理士	税理士法人二見・岩村会計事務所

■推薦委員

委員	氏名	職種	施設名
推薦委員	吉井由美子	保	高松市保健センター
	酒井　佳代	助	香川大学医学部附属病院
	林　珠美	看	香川県立白鳥病院
	大西　悦子	看	坂出聖マルチン病院
	藤澤公美子	看	四国こどもとおとなの医療センター
	香川美津子	看	西香川病院

平成31年度
日本看護協会代議員・予備代議員名簿
（平成30年6月17日現在）

■代議員

氏名	職種	施設名
松原　文子	保	香川県看護協会
西桶久仁子	助	香川県立中央病院
池内眞理子	看	回生病院
井上　香里	看	介護老人保健施設　城山苑
原渕美千代	看	屋島総合病院
細川　克美	看	香川大学医学部附属病院
村井由紀子	看	高松赤十字病院
小野　京子	准看	加藤病院

■予備代議員

氏名	職種	施設名
岡田　文子	保	香川県中讃保健福祉事務所
香西真由美	保	高松市地域包括支援センター
澤田　裕子	助	香川労災病院
井上　静子	看	四国こどもとおとなの医療センター
大西　仁美	看	滝宮総合病院
小林　由美	看	回生病院
森安　浩子	看	三豊総合病院
矢野　太一	准看	坂出聖マルチン病院

（氏名に網掛けが入ってる方が、平成30年度定時総会において改選された方です）

平成30年度

受章者・表彰者のご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

叙勲
瑞宝単光章

元三豊市立永康病院
総看護師長
安藤美知子　様

公益社団法人
日本看護協会長表彰

香川県看護協会
田中　邦代　様

憲法記念日 知事表彰

前高松市民病院
看護局長
白井眞奈美　様

三豊総合病院
副看護部長
大西　孝子　様

2018年「看護の日・看護週間」記念講演会

5月13日（日）に「誰もが夢を持てる社会の実現とは～健常者・障がい者ともに夢をもって暮らせる社会の実現～」というテーマで、看護学生や一般の方を含めた約350人が参加し、「看護の日・看護週間」記念講演会が開催された。

講師の栗栖良依さんは、ご自身が骨肉腫を患い、右下肢機能全廃という経験から、現代アートを通じて健常者・障がい者がともに、夢をもって暮らせる社会の実現を目指し活動されている。

各分野の専門家や地域を繋げ、商品やイベント、市民参加型エンターテイメント作品のプロデュースや、障がい者の芸能活動などを手掛けており、3年に一度開催される「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」の総合ディレクターもされている。

栗栖さんの「次回2020年の開催時には、障がい者を指す『パラ』が取れ、健常者・障がい者の垣根のない『トリエンタナーレ』になることを希望している」という言葉が印象に残った。フラミンゴの飾りのついたおしゃれな杖を持ち、障がいを感じさせないキュートな笑顔が印象的で、私たちにとって看護の視座の広がりの時間となった。

広報出版委員　宮下由美子

平成30年度　職能委員会活動方針

保健師職能委員会

委員長　田中　邦代

平成28年度から４職能で「切れ目ない支援のあり方」について検討・協議を重ねてきました。先般の合同交流集会でその活動の一部を報告させていただきましたが、参加者のアンケート結果からも、４職能協働での継続した取り組みへの期待が述べられていました。今年度は、昨年度の継続看護に係る実態調査の結果を４職能で分析し、今後の方向性を示したいと考えています。

これらを踏まえ、保健師職能委員会としては、日本看護協会の重点事業「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」に基づき、時代のニーズに応えられる保健師活動体制の推進と人材育成に取り組みたいと思っています。活動は①保健指導ミーティングを活用した人材育成②４職能協働による切れ目ない支援への取り組み（２年間の取り組み結果から）の２つの検討会により行います。

皆様方のご意見等お伺いしながら、取り組むことにしていますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

助産師職能委員会

委員長　野口　純子

日本看護協会の重点政策・重点事業の「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・包括的な母子支援のための看護機能強化」に基づいて、香川県看護協会助産師職能委員会では、安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備に向けた活動として、一人ひとりの助産師が、妊産褥婦と新生児及びその家族への健康生活の実現に貢献するために、助産師が自らの可能性を最大限に発揮できるような取り組みを進めていきたいと思います。

具体的には、２つの検討会「①施設と地域との連携体制の推進、②助産実践能力強化支援と院内助産システムの推進」を中心に、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援、災害発生時に対応する周産期における体制整備、CLoCMiPを活用した助産実践能力の強化、新人助産師がアドバンス助産師を目指し、自律した助産ケアが提供できるよう支援を進めます。地域で生活している母子への支援について、４職能で連携・協働した活動を進めたいと考えております。

看護師職能委員会Ⅰ

病院領域

委員長　細川　克美

看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）では、医療提供体制の変化に対して、病院領域の看護職がその専門性を発揮して役割を遂行することが求められています。そこで平成30年度は、「在宅療養支援における看護管理者の役割認識や多職種連携における看護師の専門性の発揮」をテーマに取り組んでいきたいと考えています。病院領域で働く看護職の皆さまが「イキイキと輝いて看護」に取り組むことを念頭に、委員会活動を進めてまいりますので、ご協力・ご支援のほど宜しくお願い致します。

看護師職能委員会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長　井上　香里

平成23年度の看護師職能委員会Ⅱ立ち上げから８年目を迎えました。これまで介護施設における看取りケア・認知症ケア・看護管理者の育成策等の課題解決に向け、研修会・交流会を開催してまいりました。特に看取りケアについては、「介護施設における看取りガイドライン」を作成し、出前講座を継続しています。「介護施設における看取りガイドライン」は、香川県看護協会ホームページ内、委員会活動からダウンロードできるようになりましたのでご活用ください。平成30年度は、活動目標に１．高齢者介護施設で働く看護職員の看取りケアの質向上を図る。２．「看取りガイドライン」の普及。３．高齢者介護施設看護師クリニカルラダーの作成。４．高齢者介護施設看護管理者の人材育成。５．４職能合同活動に参画し、地域包括ケアを推進する。の５つの活動目標を揚げ活動を行っていきたいと思いますので、ご支援、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成30年７月豪雨　災害支援ナースとして活動

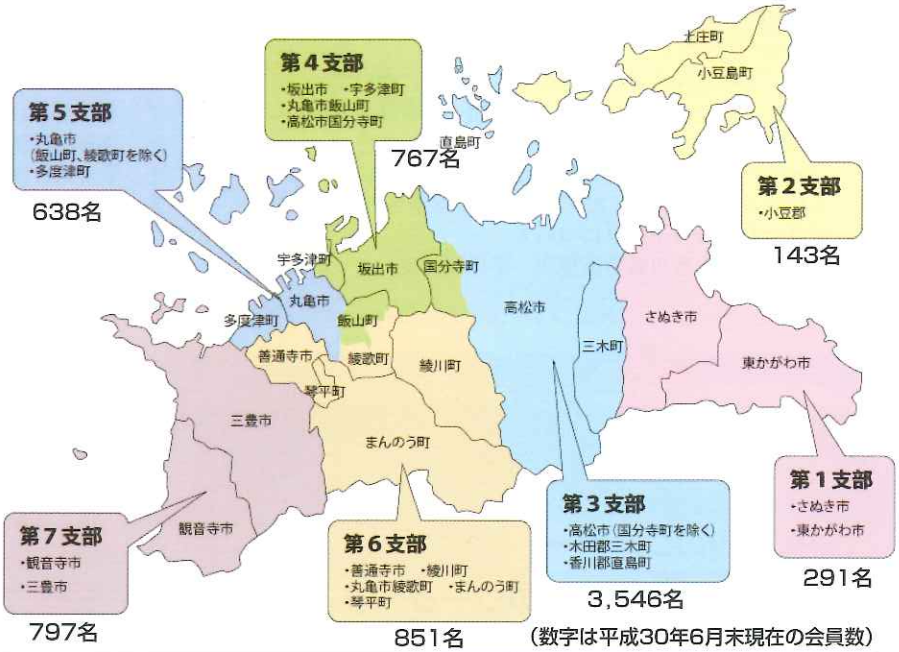
災害支援ナース１班（回生病院）　米谷小百合

香川県から第１班として、平成30年７月15日より18日までの４日間岡山県倉敷市真備町岡田小学校で災害支援ナースの活動を行ってきました。15日出発当日、看護協会協会長をはじめ協会のスタッフの方々、当病院の看護部長、災害看護対策委員会の方々の応援のもと心強く出発することができました。

15日９時30分に看護協会を出発し11時30分岡田小学校に到着。岡田小学校には約400人弱の方が避難してきており、体育館・教室すべてに被災者の方々が入られ避難生活を送っていました。現地の責任者と合流し活動内容を確認し、17時から翌日９時までの医務室の夜勤業務でした。日中は自宅のガレキ処理に行き夜間のみ帰ってくる方も多く、外傷処置や腰痛を訴える方が多くいました。そのほか熱中症症状・精神的な不安を訴える方もおり定期的な巡回を行い体調管理を行うことが大きな支援の一つでした。

自分たちが活動を終えるときには、豪雨災害が発生して約２週間が経過してきており、精神的な支援が必要になってくる時期が来ています。被災された方々に対して心から寄り添い、心の支えになれるよう次の災害支援ナースにつなげ、今回の活動を終えることができました。

平成30年度 支部活動



（数字は平成30年6月末現在の会員数）

【第１支部長　赤松美智代】

地域包括ケア研修会として、昨年度は事例検討・交流会を２回開催しました。暮らしの場における看護の機能や連携を強化し、健康を支える地域づくりを行うことの必要性を再認識しました。今年度も事例報告や交流会等を企画し、看護職だけでなく地域における多職種との連携を推進し、それぞれの役割を考える機会として情報共有を図り、連携強化に向けて活動していきたいと考えています。

【第２支部長　吉元　和子】

小豆島では、保健・医療・福祉の要素が日常生活の場においてコンパクトに整備され、小豆医療圏域での多職種連携も地域住民・行政・医師会・薬剤師会・病院・施設等と協働しながら進められています。当支部は、会員数150名。今年度は、「ACP活動を地域に広め展開するための検討会に参加しながら体制の構築に繋げる」を目標に、看護代表者交流会を企画し連携強化を図る予定です。

【第３支部長　原渕美千代】

平成29年度は、栗林地区で、日本看護協会の「高齢者および認知症支援のための看護職連携構築モデル事業」に取り組み、地域住民を含めた多職種連携のためのネットワークづくりを行いました。今年度は、その取り組みを継続しながら、様々な機能を持った医療機関・施設等が密集している支部の特性を生かし、看護管理者及び行政保健師との情報交換会を企画して、役割などの相互理解の促進を図りたいと考えています。

【第４支部長　池内眞理子】

平成29年度は、地域包括ケアにおける看護職連携活動推進事業を重点に、社会福祉士、訪問看護師による事例報告等の研修を継続してきました。

平成30年10月、平成31年２月の２回にわたり、地域住民を含めた多職種連携の交流会をポスター形式で身近にセッションできるように計画しています。

平成30年度も香川県看護協会の方針に則り、地域包括ケアシステムの構築、継続、進化するため、看護職連携や看護の役割機能強化に向けて活動していきます。

【第５支部長　埴岡康恵子】

地域包括ケアシステム構築のため、交流会を通して「地域住民の思いを知り、看護職の役割を認識する」ことを目標に掲げました。昨年度は「自助・互助・共助・公助」の視点で語り合いましたが、今年度は、地域包括ケアシステムにおける５つの構成要素「住まい・医療・介護・予防・生活支援」について各分野の方々と掘り下げてディスカッションしていきます。その過程で看護職が役割を認識していくことができるよう計画していきます。

【第６支部長　武森八智代】

少子・高齢化・多死社会が進行している中、2025年を見据えた医療・介護への期待がますます高まっています。その中で、複数の疾患を抱え、病態の変化を生じやすい方の療養の場が病院から在宅へ広がり、私達看護職にもその役割を発揮することが求められています。人々がどのような健康状態であったとしても、その人らしく生きていける社会、地域包括ケアシステムの実現に向けて、今年も第６支部では、皆様と連携をとりながら協働して参ります。「ときどき入院、ほぼ在宅」を合い言葉に、元気でいきいきとした支部活動を全員で創造していきます。

【第７支部長　森安　浩子】

観音寺・三豊における地域包括ケアについての研修を３年間継続して開催してきました。住み慣れた地域で暮らし続けるためには、各施設で働く看護職・他職種が、地域の実情（施設の機能・利用可能なサービスなど）を正しく理解して協力することが大切であるとわかりました。今年度も在宅療養を支えるための方策を、交流会の中で情報共有し、看護の役割が果たせるように活動をしていきます。

理事会報告

第1回　平成30年5月19日(土) 9:00～12:00

●協議事項

1．平成29年決算報告並びに監査報告（案）について
2．平成30年度定時総会における議長団・議事録署名人、平成31年度選挙管理委員選任（案）について
3．平成30年度職能委員・各種委員の選任（案）について
4．３階大ホールのAVシステム映像設備機器更新について
5．看護研修計画冊子送付について
6．公益社団法人香川県看護協会　組織図（案）について

第2回　平成30年6月17日(日) 16:45～17:55

●協議事項

1．副会長１名の選定について
2．専務理事、常任理事の選定について
3．会長代行及び専務理事代行の優先順位（案）について
4．業務執行理事の業務分担（案）について
5．理事会申し合わせ事項について

お知らせ

【研修案内のコーナー】

1）平成30年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ

日　時：平成30年９月５日（水）９:30～16:00
場　所：香川県看護協会　看護研修センター
内　容：今回は、労働局から「知って役立つ労働法」と「働き方改革のポイント」の説明を予定しています。

2）災害支援ナース　フォローアップ

日　時：平成30年９月８日（土）13:30～16:30
対　象：災害支援ナース
講　師：萩池　昌信(四国防災共同教育センター特命教授)
申込締切：平成30年８月25日
研修の中で、平成30年７月豪雨で活動した災害支援ナースの報告あり！

3）DVD研修「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」

日　時：平成30年９月22日（土）９:30～11:50
内　容：「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」の理解
「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用のための手引きの解説
申込締切：平成30年９月４日（火）

4）国家試験をうけた看護学生対象研修会

日　時：平成31年２月23日（土）
講　師：日本看護協会　副会長　井伊　久美子

平成30年7月豪雨のため延期になった研修の日程が決まりました。

5）「看護の将来ビジョンと看護職への期待」

日　時：平成30年10月28日（日）13:30～16:30
講　師：坂本　すが（前日本看護協会会長）
申込締切：平成30年10月13日（土）
7月8日にお申込み頂いた方は、新たにお申し込みは必要ありません。参加できない場合はご連絡ください。
詳しくはホームページをご覧ください

【お知らせコーナー】

1）第35回香川県看護学会演題募集

学会開催日時：平成31年１月27日（日）９:00～
場所：公益社団法人香川県看護協会
演題申込締切：平成30年９月28日（金）
演題申込書（様式）は、ホームページからダウンロードして下さい。（９月初めにホームページにアップ）たくさんの方の演題申込をお待ちしております。

2）届出専用サイト「とどけるん」から再就職への道を！

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、看護職は離職時等に都道府県ナースセンターへ届け出ることが努力義務化されています。届け出た看護職に対し、都道府県ナースセンターが離職者の状況に合わせた支援を行います。
　同僚やお知り合いの方で退職された方などがあれば、お声掛けをお願いします。
https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/
お問合せ：香川県ナースセンターにご連絡ください。
電話:087-864-9075　FAX:087-864-9071

3）平成30年度入会手続きは終わりましたか？

会員になると一流の講師陣による多領域の研修が受けられます。学会にも参加できます。もちろん発表することも。
図書室の利用（図書の閲覧、文献検索）ができます。
看護に関する情報（かがわ看護だより、協会ニュースなど）がタイムリーに届きます。会員特典（研修参加のポイント制やその他）があります。
困った時に相談をうけることもできます。

4）看護協会休館について

８月12日(日)、14日(火)、15日(木)、19日(日)

編集後記

残暑お見舞い申し上げます
表紙の写真はSNS映えで有名な「父母ヶ浜」です。いかかでしょうか
これからも県内の風景写真を掲載していきます。
皆様からの写真提供をお待ちしております。
平成30年度広報出版委員も新メンバーとなりました。
多くの会員の方が興味を持って読んで頂けるような看護だよりをお届けしたいと思います。
広報出版委員
山下　薫　岡本順子　豊嶋貴代　松岡悦子
花車実佐子　十川美香

印刷：㈱中央印刷所